

## 令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	39	学 校 名	静岡県立静岡農業高等学校	記載者名	村田 佳代
------	----	-------	--------------	------	-------

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
1	豊かな人間性を育む教育と安全・安心な教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会とPTA安全委員が合同で行う街頭指導の実施。</li> <li>・外部団体と連携した防災訓練の実施。</li> <li>・地域防災訓練参加率75%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春・夏・秋・年末の交通安全週間に街頭指導を行い、11名のPTA安全委員が、本校周辺で挨拶及び交通安全を呼び掛けた。</li> <li>・インフルエンザ感染症に伴う学級閉鎖のため、簡易的な防災訓練となり、外部団体と連携はできなかった。さらに、地域防災訓練の参加を自粛する生徒が多く、参加率は35.38%と、目標の半分にも届かなかった。しかし、参加率は悪いが、生徒の意識が低いわけではない。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">総務 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加したPTA安全委員から、流通通りの交通量の多さに驚いたと話が合った。生徒により一層の呼びかけが必要。</li> <li>・インフルエンザは、3学期に流行することが多いが、今年は2学期後半に学級閉鎖を伴い流行したため2つの防災訓練と重なってしまった</li> <li>・来年度以降も、状況を見て判断させる。学校としてもフォローを考える。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な登校指導、挨拶運動を年間20回以上実施。</li> <li>・身だしなみ検査初回合格率の全校平均85%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校指導を年間24回、挨拶運動を9回と計画通りに実施できた。</li> <li>・身だしなみ検査初回合格率は、現在まで89.89%で、目標数値を達成できた</li> </ul>	<p style="text-align: center;">生徒 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年による格差は多少あるが、合格率は昨年同様、高かった。しかしながら頭髪に関しては個人的に指導が難しい生徒もできてきている。今後検査の在り方、校則としての必要性も考える必要があるのではないかな。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校生徒対象の芸術鑑賞教室を9月に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月実施予定だった芸術鑑賞教室は、台風の影響により急遽延期することとなったが、1/16に無事実施することができた。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">図書 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の芸術鑑賞教室は台風により日程を延期変更することとなった。9月は、猛暑、悪天候が予想されるため、再来年度以降は10月実施に変更する予定である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間貸し出し数を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間貸し出し数は1</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の図書館だよりの発</li> </ul>

<p>1</p>	<p>豊かな人間性を育む教育と安全・安心な教育活動の推進</p>	<p>全校で2400冊、一人当たり4冊以上。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館だよりを年10回、図書館報を年度末に発行する。</li> <li>・朝食摂取率年間平均97%以上。</li> </ul> <p>・学校生活を含め不安を感じている新入生に対して、安心して高校生活を送れるように早めに対策を講じる。必要に応じてスクールカウンセラーとのカウンセリングを実施。</p> <p>・体調面から心身の状態を把握し必要な生徒には早めに面談等を実施し見守る。</p>	<p>/16時点で2,412冊であり、一人当たり平均4.1冊以上となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館だよりを1月の時点で9回発行し、2月発行予定分を入れ、10回の目標に到達する見込みである。図書館報は、現在編集中であり、2月末に発行予定である。</li> </ul> <p>朝食摂取率調査を2回（1，2学期）全校実施した。6月が96.9%、10月が97.5%で年間平均が97.2%であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生全員に対する1分間カウンセリングの実施。</li> <li>・シグマテストの実施（1年生）</li> <li>・スクールカウンセラーとの連携</li> <li>・全学年の生徒に対して学校生活に関するアンケートの実施。（1学期）</li> </ul>	<p>保健 A</p> <p>教育相談 A</p>	<p>行や館内のディスプレイ、装飾等により、貸し出し冊数の目標を達成することが出来た。引き続き図書館の快適な環境作りや新たな活用方法を考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食摂取の意識づけのための呼び掛けを行った。6月が96.9%、10月が97.5%で年間平均97.2%となり、統計開始後初めて年間平均97%以上という目標を達成した。生徒の意識が高まったのは、教育活動全般において教職員からの働きかけがあったからこそであり、先生方のご指導に感謝している。今後も健康の保持増進のため安定した食習慣を定着させることを目指していきたい。</li> <li>・5月末に1年生に1分間カウンセリングを施した。（おおよそを含めて）96%の生徒が学校生活に満足していると回答した。気になる生徒については担任教諭から改めて話を聞いていただき、教員間で情報を共有し見守っている。</li> <li>・全校生徒にアンケートを実施した。現在のところ、90%の生徒が学校生活に満足している（どちらかといえも含めて）と回答してい</li> </ul>
----------	----------------------------------	--	--	-----------------------------------	---

1	豊かな人間性を育む教育と安全・安心な教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談したい時にいつでも相談できる体制を整える。</li> <li>・関係法規を遵守し、日常的及び定期的（年5回）に安全点検を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談室の常時開放。</li> <li>・定期テスト期間に安全点検を実施（年5回）した。重大事故発生なし。生徒及び職員の実習環境改善及び暑熱対応として夏季実習服軽装化、冬季防寒具着用を導入した。</li> </ul>	農業 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調面に関しては、酷暑のせいか約3割の生徒が頭痛、睡眠不足などの体調不良を訴えている。面談希望の生徒には担任教諭から話を聞いていただいた。今後も継続して見守りを実施していく。</li> <li>・生徒自ら相談室に訪問することは極めて少ない。各担任教諭の手厚い見守りのおかげである。</li> <li>・点検項目を共通化したことで安全点検が習慣化された。</li> <li>・改善項目が見える化されたが、施設・設備の老朽化にともなう不備は長期的な取組みが必要となる。</li> </ul>
2	生徒の学ぶ意欲を高め、論理的、科学的思考力の育成と特色ある教育活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字、計算力、英単語テストの計画的な実施。</li> <li>・学級減など、教育環境の変化に対する対応。</li> <li>・授業参観週間において、BYODを含むICTを活用した授業を年2回公開。</li> <li>・年間の研修テーマとして「授業改善のためのICT研修」を継続し、県教育センターと連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算力テスト、英単語テストを予定どおり実施した。</li> <li>・教育課程の表更手続き、およびシラバスと年間指導計画作成に関する支援を行った。</li> <li>・第1回(6月)、第2回(11月)と授業参観週間を行い、積極的なICT機器の活用を呼び掛けた。</li> <li>・8月の職員研修では、フューチャーインから講師を招き生成AIと、Classroomの応用的な活用方法について学んだ。</li> </ul>	教務A 教科A  教務A  研修情報A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の育成について効果があった。実施回数について、今後も検討する。</li> <li>・教育課程6、7、8の各乙表更について県の指導を受けつつ、手続きを行った。8乙表は、年度進行で変更手続きを継続する。</li> <li>・授業やHR活動でICT活用が確実に定着してきている。今後もICTを効果的かつ有効に活用する授業を推し進めていきつつ、お互いの授業参観する風土を育てていければと感じた。</li> <li>・Classroomの作成・配信・確認や、外部のWebアプリの活用など着実に定着している。Classroomの活用法を中心としたICT活用の</li> </ul>



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本農業技術検定 2級合格 10名以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールド5人、シルバー2人)。(後期) 7人認定(プラチナ1人、ゴールド2人、シルバー4人)。</li> <li>・農業技術検定 2級 13人合格(第1回:7月) 2級4人、3級118人(第2回:12月) 2級9人、3級19人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・には届いていない。</li> <li>・制度の区分に準じた学習活動、資格取得の機会を検討する。</li> <li>・潜在的に取得可能な生徒はいるため、積極的周知が必要となる。</li> <li>・成果目標は達成した。3級受験を2年生で実施しているため、2級受験者増加に向けた指導が難しい。</li> </ul>
4	<p>学校行事、部活動、課外活動等に主体的に取り組む生徒の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAと連携した教育講演会の開催。</li> <li>・静農祭催事協力の活性化。</li> <li>・部活動県大会以上の壮行会実施。</li> <li>・部活動の目標と活動成果を共有する地域連携活動の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育講演会が7月の暑い時期に開催となり、PTAの参加は見送られた。しかし、凍らせたペットボトルの水を生徒に渡し、水分補給・暑さ対策とした。</li> <li>・静農祭では、餅・フランクフルト・コンニャクと駄菓子を販売し、生徒とともに静農祭を盛り上げた。</li> <li>・部活動の目標については、4月の部活動オリエンテーションを通じて共有し、活動成果については年度末に報告会を実施できた。</li> <li>・3年生運動部の壮行会を4月に実施してその後は県大会・東海大会・全国大会・農業クラブの壮行会を実施した。</li> </ul>	<p>総務 A</p> <p>生徒 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育講演会はPTA総会に合わせて計画しているが、講師の都合で夏の暑い時期になってしまった。来年度は、安池中也様から、「誰一人取り残さない社会を目指して」と題して講演を計画中。</li> <li>・静農祭PTA催事は、餅・フランクフルト・コンニャクと定着しているが、もち米の高騰が続いているので、変更を含め検討しなければならない。</li> <li>・全国高校総体で女子ハンドボール部が全国大会に出場した。また、日本選手権(社会人含む)も県代表として出場して、見事に東海大会で1勝をあげた。</li> </ul>
5	<p>産学官や地域との連携・貢献活動等による、農業高校魅力化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭・農場販売で積極的な地域交流を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校見学会では多くの中学生に部活動を披露した。校外でのイベントがあれば積極的に参加をしている。部活動単</li> </ul>	<p>生徒 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭においては制限を設けず実施して、多くの一般のお客様が来場して学校祭を無事行うことができた。また吹奏楽部や園芸部、食品科学</li> </ul>

5	産学官や地域との連携・貢献活動等による、農業高校魅力化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学系・学科で講師招請(年15回以上)実施。現場見学、交流活動を各学系で実施。</li> <li>全ての専門科目において端末(農業電子図書館等)を活用したプロジェクト学習を実践。</li> </ul>	<p>位だけではなく、友愛委員で声掛けを行い、ボランティアにも積極的に参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県の事業、大学との連携等を活用し、全ての学系で講師招請を実施した。関係団体と連携したインターンシップを実施(環境科学科)。</li> <li>クラウドや農業電子図書館を活用した学習が増加した。生徒自らSNSに研究活動を発信する機会が増加した。</li> </ul>	農業 A	<p>部を中心に地域との交流イベントを積極的に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの科目で講師招請が行われており、事後評価からも生徒の関心も高い様子が見える。</li> <li>実施に関しては年間指導計画との時間的調整が課題となっている。</li> <li>デジタル教材が増える中、効果的な教材を見極めることが必要となる。</li> </ul>
6	学校の情報化と校務処理等の合理化推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事等は積極的にホームページにアップする。(週1～2回以上を目安とする)</li> <li>SNSを個人情報保護に配慮しつつ、適切かつ積極的に活用する。</li> <li>事務サイドからの業務見直し提案1件以上。</li> <li>校外研修への参加各人1回以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの定期的な更新を行い、その回数や頻度をできる限り増やした。</li> <li>SNSを個人情報保護に配慮しつつ、適切かつ積極的に活用した。</li> <li>文書管理、修学旅行業者決定時期の見直し等について提案を行った</li> <li>時間の制約で校外研修に参加できない者は校内で研修を受講した。</li> </ul>	研修情報 A  事務 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事だけにとどまらず、普段の学校生活における生徒の授業や実習の様子や入試情報なども更新することができた。</li> <li>SNSを適切に活用・配信し、学校広報に一役買うことができた。</li> <li>課題となっていた事項の解消につなげることができた。引き続き校内の課題把握に努めていく。</li> <li>規則改正等に伴う事務処理の変更について理解を深めることができた。確実な業務遂行につなげることができている。</li> </ul>
7	教職員の働き方改革とワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏・冬休み期間に、休暇取得促進日を設定。</li> <li>入試期間に合わせた、セキュリティ解除厳禁日の設定(計4日)。</li> <li>定期テスト2日目に、定時退勤日を設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休暇取得促進日や年末年始・入試期間、定時退勤日の設定等から数年が経ち、職員に十分に周知されているので何の問題もなく実施できている。</li> </ul>	総務 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の1月から午後8時以降はセキュリティを掛けることになった。職員の働き方改革につながれば良いと考えている。</li> </ul>

8	<p>教育予算の効果的運用と施設・設備の計画的な維持管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営予算の執行率 95%以上。</li> <li>・監査、検査等での指摘件数 0 件。</li> <li>・施設・設備の不備による事故発生 0 件。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営予算については、執行時期・配分等適切に執行できている。</li> <li>・検査等では前年度の事務処理に対する指摘及び通知の解釈誤りによる指摘はあったが、監査での指摘はなかった。</li> <li>・施設・設備の不備による事故発生はなかった。</li> </ul>	<p>事務 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は適切な執行ができていますが、学校経営予算については年々厳しくなっている。前例踏襲にとらわれず抜本的に予算の見直しをしていく必要がある。</li> <li>・通常の業務は確実に遂行することができている。ミスが起きやすい人事異動時には、事務全体で確実に引き継ぐことによりミスの発生を防いでいく</li> <li>・日頃から担当者による施設・設備の確認を行っており、不備に対しては迅速に対応できている。また教職員による安全点検により、より細かな視点で安全確認をすることができている。引き続き、校内での連携を密にし、安全な環境を提供していく。</li> </ul>
---	----------------------------------	---	--	-----------------	--